

2025-26 Weekly Bulletin **Tanabe Hamayu Rotary Club**

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

クラブテーマ

人は人のために
生きてこそ人

2025-26 年度 RI 会長
フランチェスコ・アレツツォ

第 2640 地区ガバナー
北野治義

会長：山本康夫 幹事：大田忠博 会報委員長：光吉直也
事務所：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社会館内
田辺はまゆうロータリークラブ TEL0739-26-6181
例会場：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社会館 TEL0739-22-0155

創立年月日：1992 年 1 月 21 日 例会日：毎週火曜日 18:30～

URL：<http://www.aikis.or.jp/~t-hamayu/> E-mail：t-hamayu@vm.aikis.or.jp



日本レジリエンス教育研修センター 代表理事 西田様

会長挨拶

山本康夫

「最後には幸せになってる人はどんな人」

- | | | |
|------------------|-----------------|----------------|
| ①嫌な人からは離れる。 | ②人に頼る事ができる。 | ③周りの目を気にしない。 |
| ④徳を積んでいる。 | ⑤どんな自分も受け入れられる。 | ⑥やりたいことをやっている。 |
| ⑦どんなことにも感謝を忘れない。 | ⑧疲れた時にはしっかり休む。 | ⑨自分で自分の機嫌をとれる。 |

本日のロータリーソング

手に手つないで

Today's Meeting

2026 年 1 月 27 日 (火)
西牟婁振興局健康福祉部
田辺保健所
所長 新谷浩子様

Next Week's Meeting

2026 年 2 月 3 日 (火)
内卓
安井彰伸君

出席報告 (第 1531 回)

会員数	出席免除	欠席者	出席率
27 名	2 名	9 名	60.00%

ゲスト

日本レジリエンス教育研修センター
代表理事 西田千寿子様 (小児発達博士)

お客様

山崎貴宏様

幹事報告

例会変更

○田辺東 RC 2/11・25 (水) →休会
2/4 (水) →移動例会「南紀はまゆう支援学校」職場見学

配布

○週報 1531

回覧

○大規模公益法人 500 ガイドブック (公益財団法人 公益事業支援協会様より献本)
○ハイライトよねやま 310
○ローターアクト地区献血のご案内

お祝い

【配偶者誕生日】高原 歩 有佳様
【結婚記念日】高原 歩



1 月結婚記念日 おめでとうございます♪

委員長報告

◎奉仕プロジェクト委員会 委員長 菊池正紀

1月18日(日)田辺パビリオンシティにて献血活動を行いました。とても良いお天気に恵まれ、大勢の方にご協力いただきました。

【受付者数 82 名 献血者数 65 名】
ご協力ありがとうございました。



外で呼びかけ
もおこないま
した。



ご出産お祝い

片山佑弥君

おめでとうございます！



プログラム

「はまゆうロータリーの皆様へ」

日本レジリエンス教育研修センター
代表理事 西田千寿子様



1月20日には、貴重なお時間をいただきありがとうございました。また、JRETの活動についてご理解していただいたことも感謝申し上げます。

「学校は、子どもを豊かにするところ、幸せにするところ」だと思いながら小学校に勤務していましたが、社会情勢や様々な環境下、うまく学校に適應できない子どももたくさんいることに気づきました。学力も必要ですが、周りの人とうまく付き合っていく力などが不足しているとも感じ、子どものために必要な物を探すため様々な研修に参加しました。

シュタイナー、モンテソーリー、そしてカウンセリングなどの研修会に参加しながら、日本の公教育の中でできるものはないかと国内外にアンテナを巡らせました。35年前には、北米で生まれたホリスティック教育改革（子どもを成績だけで判断しないで一人の個人として全体的に見る）という考え方に共感し活動を続けています。ホリスティック教育だけでは具体的な指導などの情報が少なく、子どもの心や感情についてもっと学びたいということで、SEL（ソーシャル・エモーショナル・ラーニング：社会性と情動の学習）について学び始めました。日本では、具体的なプログラムは海外に比べ少なく、オーストラリアにわたり認知行動療法をベースとしたフレンズプログラムの資格を取り、日本で展開していきました。しかし、文化的な違いや日本の学校風土の違いから、日本の子どもたちにあったプログラムが必要だと考え、自分たちで作上げたのが「くまのこプログラム」(※)です。(3ページに説明あり)

このプログラムの特徴は、①粗大運動や微細運動を取り入れるなど体に働きかける。②認知行動療法の仕組みを取り入れる。③日本の学校や園の負担にならない設定をする。④毎時間成果物を作って子どもたちが振り返りやすくし、学級の風土を高める。⑤コンパッション（慈愛の心）に働きかける。⑥無理やりさせるのではなく、楽しく学びながら力をつける。⑦簡単なファミリータイム項目を設け、家庭を巻き込む。があります。そして、この地域の子どもたちから健やかに育ってほしいとの願いをこめ、熊野古道の要所でもあるこの紀南にちなんで「くまのこプログラム」と名付けました。

このプログラムは非認知能力を高めることを目的としており、特に困難を切り抜ける力、または心の回復力ともいわれる「レジリエンス」を高めることに重きを置いています。社会や環境の急速な変化にともなって、VUCA（予測困難・不確実・複雑・曖昧）の時代ともいわれる今、子どもたちが心も体も健やかに育ってくれることを願ってこれからも活動を続けていきたいと思っています。

皆様には、これからも様々な面でご指導やアドバイスをいただきながら、子どもたちの笑顔あふれる地域になるように邁進していきたいと思っています。これからも、どうぞご協力をお願いいたします。

JRET 代表理事

小児発達博士 西田千寿子



※「くまのこプログラムとは」

～ 子ども、親、先生、みんな笑顔に ～

私たちは、「自らの力で問題を解決していく子どもたちに育ってほしい。」「幸せな子ども時代を過ごしてほしい。」という願いを込めて、日本の幼児にあった「くまのこプログラム」の開発を試みました。

長年、教育の現場で子どもたちと関わらせていただき、その中で、感情のコントロールができないために衝突ばかりしている子、自分に自信を持てずに友だちとうまく関われない子、自分を否定的にみて前向きな一歩を踏み出せない子など、どうしていいのかわからず困っている子どもをたくさん見てきました。

誰にでも困難や嫌な出来事が起こります。でも、その困難や嫌な出来事と向き合った時、逃げたり、ふてくされてしまったり、パニックを起こしたりするのではなく、前向きに対処することができればどんなに幸せでしょう。ものごとを前向きにとらえ、しなやかに生きていく力はレジリエンスとよばれ、今、私たちに必要な力なのです。

子どものキラキラ輝く美しい瞳。しかし、現在、子どもの貧困、虐待、いじめ、不登校、社会環境の変化等、子どもを取り巻く情勢は厳しいものがあり、子どもの瞳の輝きが失わ

れることが起こっています。「すべての子どもが瞳をキラキラさせながら活動し、笑顔で友だちと交流してほしい！」そのためにも、子どもたちのレジリエンスを高めることが必要だと考えました。

そこで、私たち JRET では、日本の文化にあった幼児の well-being ためのプログラムを開発し提供させていただきま

す。子どもたちの笑顔があふれることを願って

プロジェクト「くまのこプログラム」 スタッフ一同

**子どもたちは、お家の人や先生が好き！
遊ぶことも好き！**



**そして、いつも認められたい、分かってもらいたい、
愛されたいと思っています。**

**私たち周りにいる大人たちの責任は大きいでしょう。
まずできることから、気づいたことから始めるしかあり
ません。子どもたちの未来を信じて、子どもたちがたくさん
のことに興味を持ち、身近なことに感動し、愛されていると
感じながら過ごせる環境づくりを一緒にしていきませんか？
幸せな子ども時代を過ごした子どもは、きっと幸せな
社会を作っていくでしょう。**

しなやか心をもって育ってほしいと願います。



ニコニコ箱

山本康夫 西田様、本日宜しく願い申し上げます。楽しみにしておりました。

大田忠博 西田千寿子様、本日は卓話よろしく願いいたします。寒暖の差が激しいので体調をくずしました。

山崎貴宏 皆様お久しぶりです。また来ることができてうれい

です。
菅根 清 寒くなりましたね。2週間ほど気温が一桁の日が

続きます。寒さに対する心構えが必要になります。
加藤喜則 月末に私の所属する定時制高校 PTA で「ヤングケアラー」をテーマに研修します。ヤングケアラーは、一昨年 6 月に法制化されましたが、支援の輪を広げる活動をがんばらね

ばなりません。西田様、本日はよろしく願いします。

高原 歩 きれいなお花ありがとうございました。
菊池正紀 **山本佳弘** **杉山竜二** **中家正幸**
坂本晶彦 **片山佑弥** **山本敦洋**